

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	乳癌患者における原発巣と転移再発巣での Trop-2 発現状況による 予後因子の検討
	研究対象者	転移再発乳癌と診断された患者さんのうち、1970 年 1 月から 2016 年 12 月の間に神奈川県立がんセンターで乳癌治療を受けられ、乳癌治療前と乳癌増悪時の両方に生検を受けられた方
	研究目的	trophoblast cell-surface antigen 2(Trop-2)は、膜タンパク質で、がん細胞の増殖に関与しており、これを標的とした新規治療薬の開発が進んでいます。Trop-2 はその発現の上昇に応じ、乳癌の生存率低下を含めた予後不良・腫瘍増大リスクが上昇するとされています。転移再発乳癌において、原発巣と転移巣での Trop-2 の発現状況を比較し、その違いによる予後や治療薬による変化の可能性、サブタイプによる違い等を検討し、予後の推定や治療薬の選定に役立てることができないかを研究します。
	研究方法	既存の生検検体を用いて、Trop-2 の発現状況を調査し、電子カルテ内容から治療効果、予後、サブタイプ等を調査します。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます。
	研究期間	西 暦 2 0 2 3 年 1 0 月 3 0 日 ～ 西 暦 2 0 2 6 年 3 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[×]総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[✓]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 [✓]病理検体(具体的に記載: <u>乳腺</u>)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: <u> </u>)
	[✓]情報:	[✓]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[✓]年齢、[]生年月日、[✓]性別、[]既往歴、[✓]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[]臨床検査値、[]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[✓]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[]ゲノムデータ、[]看護記録、[]その他(具体的に記載: <u> </u>)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	乳腺外科・岡本咲
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター・乳腺外科・岡本咲・045-520-2222 利用停止のお申し出は 2023 年 11 月 10 日までお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	